

令和6年度 上高野小学校の教育(グランドデザイン)

学校の教育目標

「挑戦し続ける子」【自信と誇りをもつ児童】
よく考える子(知) 思いやりのある子(徳) 元気な子(体)

・主体的に考え、自分の言葉で発信できる子
・自ら気づき考え実行する子

・自他を尊重し、助け合える子
・感謝の心を表現できる子

・いのちを大切にし、体力づくりに努力する子
・気持ちのよい挨拶ができる子

明治6年開校 歴史と伝統ある学校

めざす学校像『挑戦と創造』～一人一人が生きる、活力のある学校～

- ①子どもが生きる:主体的に考え、よりよく実践できる「自立」の育成(自立した学習者)
- ②教職員が生きる:教育への情熱と使命感をもち、子どもの成長を心から喜び、誇れる教育の実践
- ③家庭・地域が生きる:家庭・地域の信頼に応える学校(子どもは家庭や地域のタカラ)

《学校経営方針》

「凡事徹底」…「あたりまえ」が光り輝く
(あいさつ・返事がひびく)

- ①感謝の心で、心温まる明るい「あいさつ・返事」がひびく学校
- ②「豊かな学びのある授業」「感動のある学校行事(伝説)」を創る学校
- ③毎日の学級活動を通じた集団行動を大切にする学校
- ④安心して安全な学校

◆学校経営の基本理念◆

「木は光を浴びて育つ 人は言葉を浴びて育つ」

- 1 児童一人一人の個性・特性の伸長を図る活動の充実「子ども真ん中」
- 2 たくましく生きる(自立・自律)ための資質・能力の育成
- 3 対話(自己、教材、仲間)を重視した学びの深化
- 4 「地域の力」の活用
- 5 学校の組織的実践力(「学校力」)の向上(自走する組織)

《めざす教師像》

「情熱と使命感」

- ①子どもの心に灯をともし、光り輝かせ続ける教師(モチベーションとエネルギー)
- ②常に愛情をもって子どもと関わり、認め、励ます教師(支援力)
- ③もち味を発揮し、組織の一員としての自覚と誇りを持ち、意欲的に協働できる教師(ONE TEAM・同僚性)
- ④研究と修養に努め、常に資質向上に努める教師(挑戦力・向上心)

《本年度の重点・努力点》

- 学年・学級経営の充実 ○学習指導の充実
- 教育相談の充実
- 働き方改革 ○特別支援教育の充実 ○道徳教育・ボランティア福祉教育の充実
- 地域連携 ○学校図書館教育の充実 ○生徒指導・心の教育の充実
- 情報教育の推進
- 人材育成・組織改革

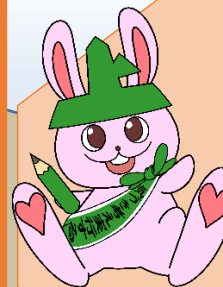


家庭・地域との連携

信頼と協力の得られる学校づくり

「家庭や地域のタカラ」を共に育む(共育)

- ①家庭や関係機関との連携、教育相談体制の充実
- ②家庭・地域との協働、学校教育の情報提供の充実(HP、学校メール、各種便り、配布物のデータ化等)
- ③校区の施設・人材の活用、本物に触れる体験



《めざす授業像》(生徒指導の4つの機能を生かして)

「わかる」授業で「できる」自信と「考える」楽しさを

- ①視野を広げ、考えを深める(自分の考えをもつ)
→自己決定の場の提供
- ②新たな価値を見出し、論理的に他者に伝える(自分を表現する)→自己存在感の感受
- ③難しいことにも挑戦することを楽しみ、最後までやり抜こうとする(チャレンジする)→自己決定の場の提供
- ④互いに共感し、高め合える信頼関係を築く(人を大切にす)→共感的な人間関係の育成

道徳教育の推進

安全・安心な風土の醸成